第六講 『唐語林』／『荘子』

一 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。（設問の都合で返り点・送り仮名を省いたところがある。）

姚梁公与崔監司在中書。梁公有子喪。在仮旬日、政事委積、処置皆不得。言于玄宗、玄宗曰、「朕以天下事本付姚崇、以卿坐鎮雅俗。」及梁公出、頃刻間決遣 (a)尽畢。

時斉平陽為舎人、在旁見之。梁公 ①自以為能、頗有得色。乃問平陽曰、「余之為相、比何等人。」②斉未及対、梁公曰、「何如管晏。」曰、「③不可比管晏。管晏作法、(b)雖不及後、(c)猶及其身。相公前入相、所立法令施未竟、悉更之。以此不及。」梁公曰、「④然則竟如何。」曰、「相公可謂⑤救時之相也。」梁公投筆曰、「救時之相、豈易得乎。」

時斉平陽善知今事、高仲舒善知古事。姚作相、(d)凡質疑問難、皆

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

此ノ二人ナリ。因リテ嘆ジテ曰ハク、「欲セバレ知ラント二古事ヲ一、問ヒ二高仲舒ニ一、欲セバレ知ラント二今事ヲ一、問フ二斉澣ニ一。即チ無シトレ敗ルレ政ヲ矣。」

（『唐語林』による）

注　梁公――姚崇（えうすう）。唐・玄宗の時代の宰相。　崔監司――崔琳（さいりん）。　中書――中書省。皇帝の詔勅などを起草する役所。
子喪――息子の葬儀。　在仮――休暇中であること。
玄宗――唐の第六代皇帝。　卿――ここでは玄宗に告げた人物を指す。
坐鎮雅俗――ただ座って何もせず、名声や徳望によって上下の人心を従わせる。
頃刻間――わずかの間。　斉平陽――斉澣（せいくわん）。姚梁公の部下。
舎人――中書舎人。中書省の属官。　得色――得意のさま。　相――宰相。　何等――どのような。
管晏――管仲と晏嬰。ともに春秋時代の斉の名宰相。　其身――彼ら自身が宰相であった時、在職中の意。
相公――ここでは姚梁公を指す。　入相――朝廷に入って宰相となる。　投筆――筆を投げる。ここでは喜びを示す動作。
高仲舒――斉平陽と同時期の中書舎人。

問一　二重傍線部ａ「尽」、ｂ「雖」、ｃ「猶」、ｄ「凡」は、それぞれ文中ではどのように読むか。その読み方を送り仮名も含めてすべて平仮名で記せ（現代仮名遣いでもよい）。

ａ＝

ｂ＝

ｃ＝

ｄ＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問二　傍線部①「自以為能」とあるが、「姚梁公」が「能」であると判断できる箇所を、本文中から二文抜き出し、それぞれ始めと終わりの三字を答えよ（句点は含まない）。

問三　傍線部②「斉未及対」、傍線部④「然則竟如何」を、それぞれ（１）すべて平仮名で書き下し（現代仮名遣いでもよい）、（２）平易な日本語に訳せ。但し、傍線部④については、「然」の内容が明らかになるようにせよ。

②（１）

（２）

④（１）

（２）

問四　傍線部③「不可比管晏」について、次の問いに答えよ。

（１）「比」の本文中における意味に最も近い熟語を、次のア～オの中から選べ。

ア　比例　　イ　比肩　　ウ　比重　　エ　比隣　　オ　比喩

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

（２）斉平陽が、傍線部③のように判断した理由を、「管晏」と「姚梁公」との相違が分かるように説明せよ。

問五　傍線部⑤「救時之相」とあるが、ここではどのような宰相のことを言っていると考えられるか。三十字以内で答えよ。

問六　「姚梁公」とは、どのような人物であると考えられるか。本文の内容に即して答えよ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈講義動画中に使用します〉

「選択形」

❶ A（スル）ハ孰‐与（ゾ）B（スル）ニ　〔A（する）はB（する）に孰与れぞ〕

＊孰‐若
＊何‐与
＊何‐如

〔A（する）よりはB（する）のほうが勝っている〕
〔A（するの）はB（するの）と比べてどうか〕

（例）保‐全スルヨリハ一身ヲ孰‐若（レゾ）保‐全スルニ天下ヲ乎。
〔一身を保全するよりは天下を保全するに孰若れぞ。〕
（自分の身を保全するよりは天下を保全するほうがよい。）

（例）楚王之猟ハ、孰‐与（レゾ）寡人ニ。
〔楚王の猟は、寡人に孰与れぞ。〕
（楚王の狩猟ぶりは、私と比べてどうか。）

❷ 与（リハ）其ノA（セ）ン、孰‐若（レゾ）B（スル）ニ
〔其のA（せ）んよりはB（する）に孰若れぞ〕
（A（する）よりB（する）のほうがよい）

（例）与（リハ）其ノ有（ラン）誉（レ）於前ニ、孰‐若（レゾ）無（キニ）毀（そしり）於其ノ後ニ。
〔其の前に誉れ有らんよりは、其の後に毀無きに孰若れぞ。〕
（目の前で褒められるよりは、背後でそしられないほうがよい。）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

❸

与リハ㆑A寧ロB　〔AよりはB寧ろB〕　（AよりBのほうがよい・AよりBであれ）

（例）与リハ㆓其ノ不孫ナラン㆒也、寧ロ固ナレ。　〔其の不孫ならんよりは、寧ろ固なれ。〕（高慢であるよりは、むしろ頑ななほうがよい。）

❹

寧ロA（ス）トモ　無カレ㆑Bスル　〔寧ろA（す）ともBする無かれ〕（AするとしてもBするな・AするとしてもBしない）

（例）寧ロ為ルトモ㆓鶏口ト㆒、無カレ㆑為ル㆓牛後ト㆒。　〔寧ろ鶏口と為るとも、牛後と為る無かれ。〕（鶏の口になっても、牛の尻尾にはなるな。

➡小さい集団でも人の上に立ち、大きい集団の末尾にいるな。）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二　次の文章を読んで、後の問に答えよ。設問の都合により一部の訓点等を省いた。

故有人者累、[a]見有於人者憂。故尭非有人、非見有於人也。吾願、去君之累、除君之憂、而独[b]与道遊於大莫之国（注1）。方舟（注2）而済於河、有虚船来触舟、[c]雖有惼心之人不怒。有一人在其上、則呼張歙（注3）之。一呼而不聞、於是三呼邪、則必以悪声随之。[d]向也不怒、而今也怒者、[e]向也虚而今也実也。[A]人能虚己以遊世、其[f]孰能害之。

（『荘子』山木）

（注）
1　大莫之国――大いなる寂獏の世界、根源的な自由の境地。
2　方舟――両舟の相並ぶをいう。
3　張歙（きふ）――「張」は開く（舟を外に向ける）、「歙」は歛（おさ）める（舟を内に向ける）意。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　傍線部ａ、ｂ、ｃ、ｄの読みを送り仮名まで含めてカタカナで答えよ。現代仮名遣いでも構わない。

ａ＝　　　　ｂ＝

ｃ＝　　　　ｄ＝

問二　傍線部ｅを「虚」と「実」の意味を明確にして、現代語訳せよ。

問三　傍線部ｆの読みを送り仮名まで含めて、全文平仮名で答え、かつ現代語訳せよ。現代仮名遣いでも構わない。

問四　傍線部Ａのような、世俗的な無用と無名を志して安らかな自己の人生を全うするような老荘思想の基本的概念を漢字四字で答えよ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第六講

①　「雖モレ賢ナリト　其レ能ク行ハレン　乎。」をすべて平仮名（現代仮名遣い）で書き下し文にせよ。

②　「被徙流沙。」を、全文平仮名（歴史的仮名遣いによる）で書き下した文として最も適当なものを、次の中から一つ選べ。
なお、「徙」は、「うつす」と読む。

ア　りうさにうつさる
イ　りうさにうつせしむ
ウ　りうさもてうつせらる
エ　りうさよりうつしめらる
オ　りうさをかふむりうつさる

③　「如二吾民一何。」の読み方を送り仮名も含めてすべて平仮名で記せ。

④　「与リハ下其ノ同ジク二草木一ト腐ラン上、孰レ‐若ゾ下縁リテ二方孝孺（ほうこうじゅ）ニ一倶ニ為ルニ中忠義之鬼上ト。」を現代語訳せよ。

注　腐…朽ち果てる
縁方孝孺…方孝孺〔＝明初期の朱子学者〕の関係者として
為忠義之鬼…「忠義の死者となる」➡「忠義のために死ぬ」ということ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【第六講】

〔模範解答〕

一

問一　a＝ことごとく　b＝いえ〔へ〕ども　c＝なお〔ほ〕　d＝およそ

問二　在仮旬～皆不得　／　及梁公～遺尽畢

問三　②（1）せいいまだこたう〔ふ〕るにおよばざるに
（2）斉平陽〔斉澣〕がまだお答えしないうちに
④（1）しからばすなわ〔は〕ちつい〔ひ〕にいかん（と）
（2）私が管仲と晏嬰に及ばないならば、結局私はどんな宰相であるのか

問四　（1）イ
（2）管仲、晏嬰が作った法令は、在職中に世に行き渡ったが、姚梁公が作る法令は施行し終わらないうちに改正して世に行き渡らないから。

問五　安定した情勢の治世ではなく、緊急時に対応する能力がある宰相。（三十字）

問六　他のものができないような仕事も短期間で全てやり終えてしまうほど有能で、皇帝からも認められており、自分で自信も持ってはいるが、きちんと分をわきまえてもいて、人の意見も聞ける。臨機応変に処理する能力にたけており、人を見る目も確かな人物。

二

問一　a＝タモタルル　b＝ト　c＝イエ〔ヘ〕ドモ　d＝サキニハ

問二　最初の舟は無人だったが、今の舟には人が乗っているからである。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問三　〔読み〕　たれかよくこれをがいせん（や）。
〔訳〕　誰が自分を虚にした人に害を加えることができようか、いや、できない。

問四　無為自然

〈現代語訳〉

一

姚梁公と崔監司は中書省に在職していた。梁公に息子の葬儀があった。休暇をとること十日、政治の事務の仕事がたまって、処理はすべてなされなかった。（ある人が）玄宗皇帝に（そのことを）言ったところ、玄宗が言うには、「私は天下のことをはじめから姚崇〔＝姚梁公〕に託しているのだから、あなたはただ座って何もせず、名声や徳望によって上下の人心を従わせればよい」と。梁公が出仕すると、わずかの間で（たまっていた仕事の）処理はことごとく終わった。

ある頃、斉平陽は中書省の属官であったが、（姚梁公の）傍にいて彼を見ていた。梁公は自らを有能とみなし、たいそう得意の様子であった。そこで平陽に質問して言うには、「私は宰相として、どのような人と肩を並べることができるだろうか」と。斉平陽〔＝斉澣〕がまだお答えしないうちに、梁公が言うには、「管仲、晏嬰と比べるとどうか」と。（斉平陽が）言うには、「管仲、晏嬰に肩を並べることはできません。管仲、晏嬰が作った法令は、後代には行き渡らなかったが、それでも在職中には世に行き渡りました。相公〔＝姚梁公〕がかつて朝廷に入り宰相となり、作った法令は施行し終わらないうちに、すべて改正されました。このことによって及びません」と。梁公が言うには、「それでは結局どんな宰相であろうか」と。（斉平陽が）言うには、「相公〔＝姚梁公〕は危急を救う宰相と言うことができます」と。梁公は喜んで筆を投げて言うには、「危急を救う宰相には、どうして簡単になれるものだろうか、いや、なかなかなれない」と。

その当時、斉平陽は現在のことをよく知っており、高仲舒は昔のことをよく知っていた。姚梁公は宰相となり、たいてい疑問をただし難しいことを問うときは、すべてこの二人にした。（姚梁公は）よって感嘆して言うには、「昔のことを知りた

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

ければ、高仲舒に質問し、今のことを知りたければ、斉澣〔＝斉平陽〕に質問する。そうすれば政治を失敗することはない」と。

二

だから人民を支配する者は（面倒さで）心を苦しめ、人民に利用される者は憂慮するのである。だから尭は人民を支配するのではなく、人民に利用されるのでもなかったのである。私の願いは、あなたの心の苦しみを取り去り、あなたの憂慮を取り除き、そしてただ「道」と一緒に根源的な自由の境地に遊ぶことです。舟を二艘並べて黄河を渡るとして、誰も乗っていない舟があり、（その舟が）来て（自分の）舟にぶつかったならば、たとえ心の狭い人がいたとしても怒らないだろう。一人が舟の上にいたならば、呼んで舟を外に向けたり内に向けたりさせるでしょう。一回呼んで聞き入れず、そうして三回呼ぶことになれば、きっと怒った声で相手に呼びかけるでしょう。前のときは怒らなかったのに、今は怒るのは、前のときには虚〔＝無人〕で今は実〔＝有人〕だからです。人が自分を虚〔＝心を空っぽ〕にして世間で遊ぶことができれば、誰がその人に害を加えることができようか、いや、できない。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題解答解説　第六講

〔解説〕

① 訓点が付いているので、とても簡単。これは確実にできてほしい問題。「雖」は「いえどモ」、「能」は「よク」。これらは頻出の読み問題。文末の「乎」は、直前が「ん」であることから「や」とわかる。

② 「被Ｖ」は受身の句法。「被」は、Ｖが四段動詞なら「る」、それ以外は「らる」と読む。ここでは「徙」が「うつす」と読む四段動詞であることから、「被徙」は「うつさる」と読む。したがって、アかオに絞る。オは、「被」を「かふむり」と「る」と重複して読んでいるため不可。よって、アが正解。

③ 「如[目的語]何」は、「[目的語]ヲいかんセン」と読み、「[目的語]をどうすればよいか」という意味。よって、「わがたみをいかんせん」と読む。「私の民をどうすればよいか」という意味。

④ 「与(リハ)二其(ノ)Ａ一(セン)孰－若(レゾ)Ｂ一(スル)ニ」は、「Ａ（する）よりＢ（する）のほうがよい」という意味。ちなみに「鬼(き)」は漢文では重要単語で、「人間の霊魂・死者」という意味。ここでは、選択形の句法の確認がメインであるため注釈に載せたが、「鬼」の意味は覚えておこう。

〔解答〕

① けんなりといえどもそれよくおこなわれんや。　② ア　③ わがたみをいかんせん。

④ 草木と同じように朽ち果てるより、方孝孺の関係者として共に忠義のために死ぬほうがよい。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。